



2025 年 11 月 21 日
北海道旅客鉄道株式会社
ENEOS リニューアブル・エナジー株式会社
北海道電力株式会社

日高線廃線跡地を活用した太陽光発電によるオフサイト PPA 契約の締結

北海道旅客鉄道株式会社（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：綿貫 泰之、以下「JR 北海道」）、ENEOS リニューアブル・エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：小野田 泰、以下「ERE」）と、北海道電力株式会社（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：齋藤 晋、以下「北海道電力」）は、日高線廃線跡地を活用した太陽光発電によるオフサイト PPA^{*1}に関する契約を 2025 年 10 月 31 日に締結しました。

本契約において、JR 北海道は、オフサイト PPA の仕組みを活用し、北海道電力を通じて ERE の太陽光発電所 2 箇所（日高線廃線跡地を活用したオープンイノベーション採択事業^{*2}、出力合計：約 3,980kW）で発電する再生可能エネルギー（以下「再エネ」）電力を年間約 710 万 kWh 調達し、苫小牧駅・北広島駅等の施設、及び室蘭線・千歳線の一部の運転用電力としてその電力を使用します。この結果、従来比で年間約 3,700t-CO₂の CO₂ 排出量の削減を実現できる見込みです。また、再エネ由来の環境価値を組み合わせることにより、苫小牧駅及び北広島駅の電気使用に伴う CO₂ 排出量「実質ゼロ」を実現します。



<オフサイト PPA のスキーム図>

3 社は、本取り組みを通じて、長期にわたり協働で地域の脱炭素化に取り組み、北海道が推進する「ゼロカーボン北海道」の実現に貢献してまいります。

